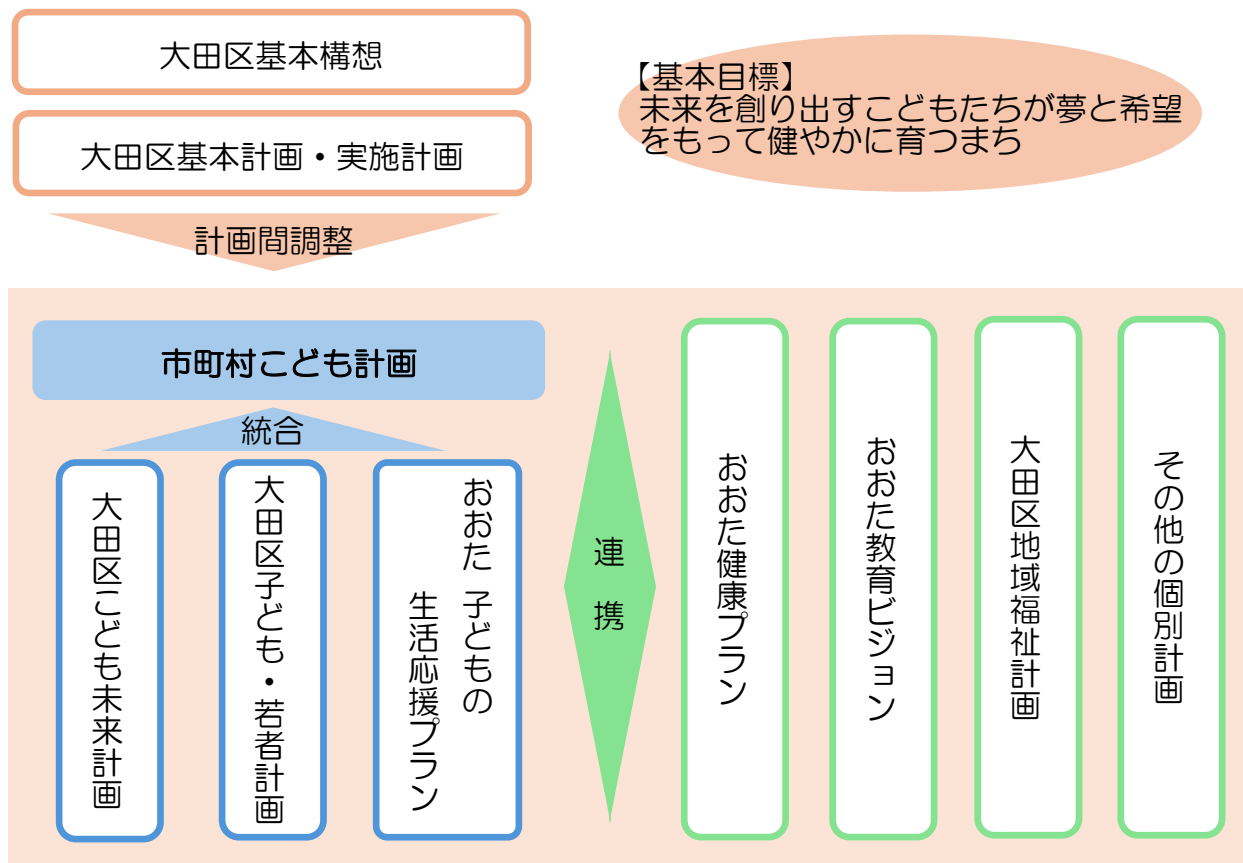


こども基本法に基づく「市町村こども計画」の策定について

1 区における「市町村こども計画」の位置づけ



⇒「市町村こども計画」以外の個別計画における主要課題（不登校や自殺など）については、その計画での議論において取り扱うことになるため、「市町村こども計画」について議論する大田区こども未来会議においては、それに連携・補完する内容について議論していく。

2 「市町村こども計画」の策定スケジュール（想定）

資料8-2のとおり

3 「市町村こども計画」策定に向けた区民アンケート調査

(1) 前回調査の概要

		調査対象	調査件数	回収率
こども未来計画 (R5調査実施)	子ども・子育て支援事業計画（法定計画）※	就学前児童保護者	2,500 件	46.7%
		小学校児童保護者	2,500 件	42.0%
	次世代育成支援行動計画	就学前児童保護者	2,500 件	46.7%
		小学校児童保護者	2,500 件	42.0%
		小学校4～6年生	1,250 件	29.3%
		中学校1～3年生	1,250 件	28.0%
		高校生世代	1,250 件	17.4%
	子ども・若者計画（R6調査実施）	15 歳～39 歳	3,000 件	25.3%
子どもの生活応援プラン (R2調査実施)		小学校5年生保護者	4,853 件	84.4%
		小学校5年生	4,853 件	86.0%
		ひとり親家庭保護者	2,000 件	42.2%

※ 子ども・子育て支援事業計画（法定計画）の調査については、国の調査通知を踏まえる必要があることから、その他の調査とは別に令和9年度に実施予定。

(2) 回収率の向上策（案）

① 設問数の縮減（回答者の負担軽減）

- ・回答時間 15 分程度（30 問～40 問）を目安に設問を設定する。
- ・前回調査の設問については、資料 8－3 のとおり。

② インターネット回答フォームの活用

- ・回答を進めるごとに残りの回答時間（想定）を表示する。
- ・小学生・中学生に対しては、回答を進める（例えば 10 問）ごとにイベントを発生させる。

③ 回答者へのインセンティブの導入

ア 保護者・若者（高校生以上）

- ・回答者にデジタルギフトを送信する。

イ 小学生・中学生

- ・回答者に「はねぴょん」などのデジタルイラストを送信する。

(3) 調査対象者以外の区民の意見聴取

区民アンケート調査期間において、区ホームページ上にすべての区民がこども・若者・子育てに関する意見や提案などを書き込むことができるページを構築する。